

川崎市SDGsプラットフォーム分科会 活動報告書

提出日

2024年3月27日

分科会名

「子供たちへの食品等寄付スキーム」分科会

分科会長

事業者名

別紙「活動計画書（第2号様式）」のとおり。

担当部署

担当者名

メール

電話番号

## (1) 活動報告

別紙「成果報告書」のとおり。

## (2) 関連するSDGsのゴールとゴール達成に向けた具体的な取組内容

別紙「活動計画書（第2号様式）」のとおり。

## (3) 参加メンバー（事業者名）

別紙「活動計画書（第2号様式）」のとおり。

# 川崎市SDGsプラットフォーム 分科会成果報告会

---

## 「子どもたちへの寄付スキーム分科会」 成果報告



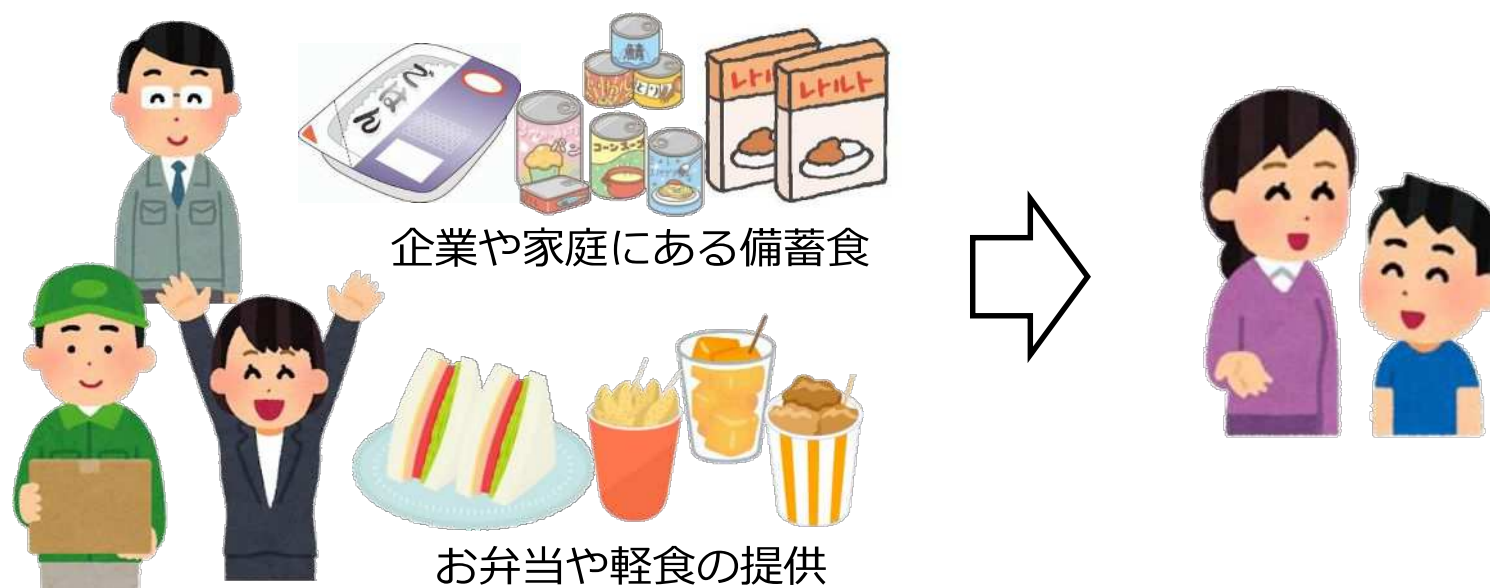
2024年3月27日

＜報告者＞

川崎信用金庫 青木

## 子どもたちへの寄付スキーム分科会とは

企業からの寄付等を通じて、子どもたちに必要な物が届くサイクルの構築を目指して活動しています。



企業が子どもたちの成長を想える地域に  
＝将来を担う子どもたちが成長することで、発展し続けられる地域に

## 主なイベントについて

---

### **1. 子どもたちへの食料等の配付・試食イベント**

- 開催日：2023年4月21日（金）
- 会場：川崎信用金庫本店10階
- 内容：①寄付で集まった食料等の配付・試食  
②SDGs体験広場  
③遊びの広場
- 運営：子どもたちへの寄付スキーム分科会16社（全体、食料配布）  
NECプロボノ倶楽部（SDGs体験学習オンラインボッチャ）  
海の豊かさを守ろう分科会（SDGs体験学習ワークショップ）  
多摩区SDC学生スタッフ（遊びの広場）  
川崎信用金庫 新入職員29名（SDGs研修）
- 来場者：親子50組（113人）  
企業等25社（41人）

#### **【イベントの目標】**

- ・食料配布のイベントを通じて、多くの企業に子どもたちへの寄付スキームに興味を持ってもらう、参加してもらう！
- ・参加する親子に楽しんでもらう！（食料支援、居場所づくり等）

## 主なイベントについて

- 受付期間：2023年3月22日～2023年4月21日
- 寄付をいただいた企業等：21社
- 寄付以外の協力企業等：16社  
※上記のほか、4社が今後の連携を申し出
- 寄付の内容：食料品約645kg、日用品約180kg

米、パン、ビスケット、小麦粉、ホットケーキミックス、レトルトカレー、カップ麺、海苔、調味料、乾麺、ジュース、お菓子、缶詰、コーヒー、紅茶、ティッシュ、汗拭きシート、防災セットなど多数



### 子どもたちへの食料の 配布・試食イベント

2023年4月21日(金) 会場：川崎信用金庫本店10階  
(川崎市川崎区妙子2-11-1)  
16:00～19:00開催 ※川崎駅から徒歩5分  
お子さんがいる家庭に、寄付により集められた食料等を配布します

イベントの内容

1 食料等の配布、試食  
寄付で集まった食料を配布します  
その場で楽しく食べることが可  
※寄付の状況により内容が変わります  
※賞品に全く同じものは配布できません

2 SDGs体験・遊びコーナー  
かわさきSDGsパートナーによる  
ワークショップや体験コーナーで  
楽しく遊んで学ぶことができます  
※オンラインボッチャやエコバック制作等

お申込み方法 QRコードの申込フォームから申込み  
※事前申込制となります(先着100組)  
※お子さんだけの参加はご遠慮ください

主催 川崎市SDGsプラットフォーム  
「子どもたちへの寄付スキーム分科会」  
共催 川崎信用金庫(創立100周年記念事業)  
後援 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会  
川崎市川崎区役所  
協賛 川崎信用金庫 総合企画部 山田  
(子どもたちへの寄付スキーム分科会事務局)  
電話: 044-220-2362  
メール: sougoukikakusdgs@kawashin.co.jp

会場案内図

配布イベントチラシ

※寄付いただいた食料等は、当日ご参加いただいた  
親子に配布しました。配布しきれなかった一部食料  
等は、参加した子ども食堂等で再配布を行いました。

## 主なイベントについて

---

### **2. 食料等の配付イベント@かわさきSDGsパートナーまつり2023**

- 開催日：2023年10月29日（日）
- 会場：NEC玉川事業場公開空地
- 内容：①食料や日用品の寄付の受付  
②寄付で集まった食料および日用品の配布
- 運営：子どもたちへの寄付スキーム分科会18社  
学生ボランティアスタッフ  
（多摩区SDC、専修大学経済学部鈴木ゼミ）
- ブース来場者：279名

#### **【イベントの目標】**

- ・食料配布のイベントを通じて、多くの企業に寄付の取組みに参加してもらうこと
- ・寄付で集まった食料等を必要としている人たちに届けること





## 現状や課題について（一部抜粋）

---

### <企業の声>

- ・こうした寄付の取組みを知らない企業が大多数
- ・寄付をしたかったが、どこに連絡すればよいかわからない
- ・BCP対策（事業継続計画）の備蓄をしていない
- ・アルファ化米や乾パンなど、子どもがあまり喜ばない物も多い
- ・あまりコストをかけて細かい郵送等はしたくない

### <子ども食堂等の声>

- ・食料の量が足りない、もしくは偏っている
- ・保管場所が足りない
- ・受け取る日時や受け取り方、配送面で困っている
- ・リソース（ヒトモノカネ）が足りない
- ・できるだけ子どもたちが喜ぶ美味しいものが欲しい



## 取組みの方向性

イベントなどを通じて、寄付スキームを実行しながら、既に行われている活動やスキーム(備蓄食以外も)、課題、ニーズを発信

⇒既存の活動やスキームを含めて、多くの企業に知ってもらう

⇒興味を持った企業と様々な活動やスキームを繋ぐ

⇒寄付や保管、配送の協力に参加してもらう、ネットワークを構築する



その後の段階として、提供側と受取側のマッチングツールやオリジナルの備蓄食の開発等を通じて、シームレスで持続可能なスキームの構築を目指す

## 「理想」の地域の姿を考える

---

この地域のすべての企業は、

- ・ BCP対策（事業継続計画）として備蓄食を持っている
- ・ この備蓄食を災害などが起こらなければ賞味期限前に寄付している
- ・ 子どもたちが食べることを前提とした美味しいものを備蓄している
- ・ 備蓄食だけでなく、お弁当や軽食などを用意して寄付している
- ・ 従業員も家庭の食料を提供(フードドライブ)する等、SDGsの意識が高い
- ・ 組織力が強化され、経営の持続的発展の可能性が高い
- ・ 取組みをPRすることができ、優秀な人材の確保に繋がる

この地域では、

- ・ 様々な企業から多くの寄付が常時集まってくる（常に十分な状態）
- ・ 子どもたちに届けられるイベントやスキームが豊富にある
- ・ 提供側と受取側がすぐに繋がる、様々な調整が即座に完了する
- ・ オリジナル備蓄食が地域の企業に販売されており、いつ、どの企業が、何の備蓄食を、どの量で寄付されるか把握され、備蓄食の利益も子ども食堂やこうした活動の費用に充てられる
- ・ 子どもも企業も成長し続けることができ、持続的発展する地域となる